



～7月利上げ後初めてとなる今回のMPMについて、全回答者（149先）の98%が政策変更なしとの見方。3か月先の金利予想では、無担保コールON金利について現状対比「不変」の見方が6割まで増加。2年・10年国債金利予想については、「上昇」の見方が依然として全体の半数以上を占めた。

【調査の総括】

- 全回答者（149先）の98%が今回のMPMでの政策変更なしを予想。引締めを予想する先は前回から大幅に減少（32% → 1%）。緩和を予想する先は全体の1%であった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、「上昇」を予想する先が前回から大きく減少（90% → 34%）し、現状対比「不変」の見方が全体の64%（前回比 +54%）を占めた。「低下」を想定する先はわずかであった。
- 3か月先の国債金利予想では、「上昇」の見方が前回から減少するも、依然として全体の5割超を占めた（2年債：91% → 53%、10年債：86% → 51%）。一方、現状対比「不変」の見方は大幅に増加（2年債：9% → 44%、10年債：13% → 44%）した。「低下」の見方は2年債で3%（前回比+3%）、10年債で5%（前回比+4%）であった。

【調査の概要】

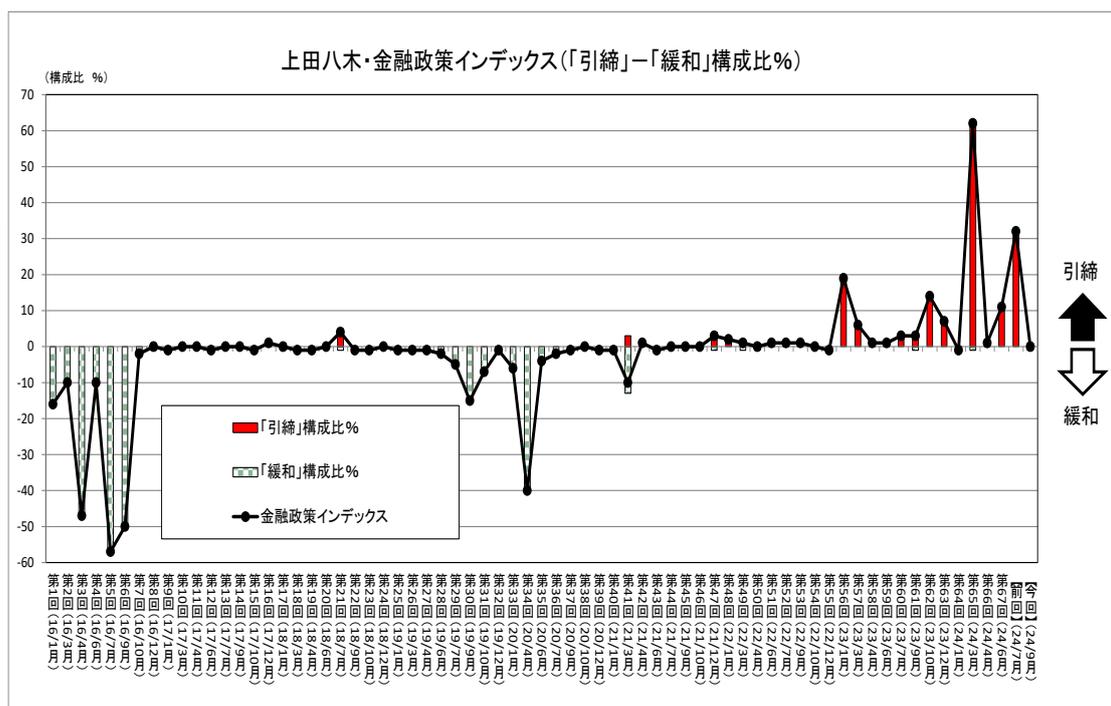
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（156先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2024年9月12日～17日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	95.5% （回答者数149先 < Q 1 における回答者数 >）

【調査の結果】

（Q 1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（9月19日～9月20日）における決定について

回答者の98%が「不変」の見方。「緩和」の見方は1%。「引締」は、1%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締」－「緩和」構成比%）は、「±0」（前回は32）であった。



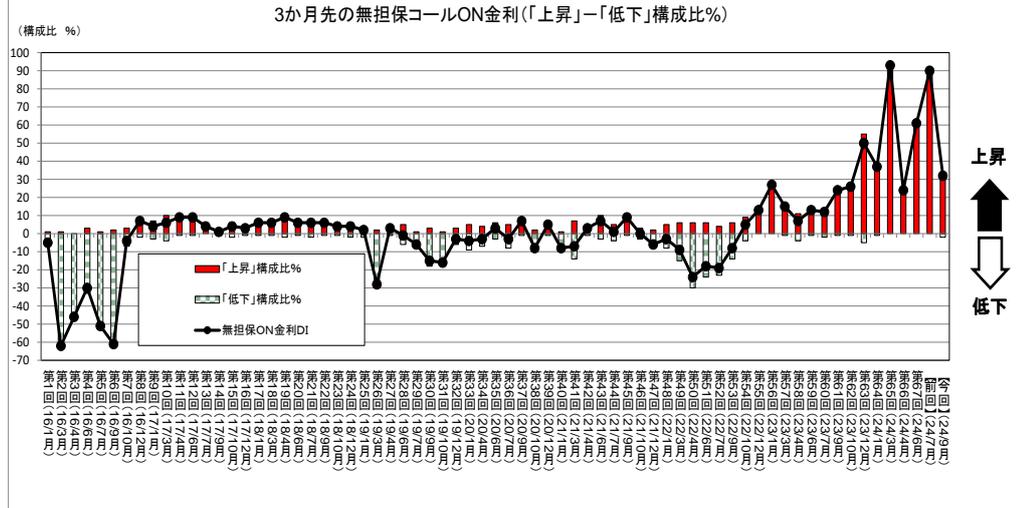
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の34%が「上昇」と予想、2%が「低下」を予想、「不変」とみている先は64%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲5.6%ポイント(前回90% → 今回34%)。

「低下」とみる先は+2%ポイント(前回0% → 今回2%)。

「不変」とみる先は+5.4%ポイント(前回10% → 今回64%)。



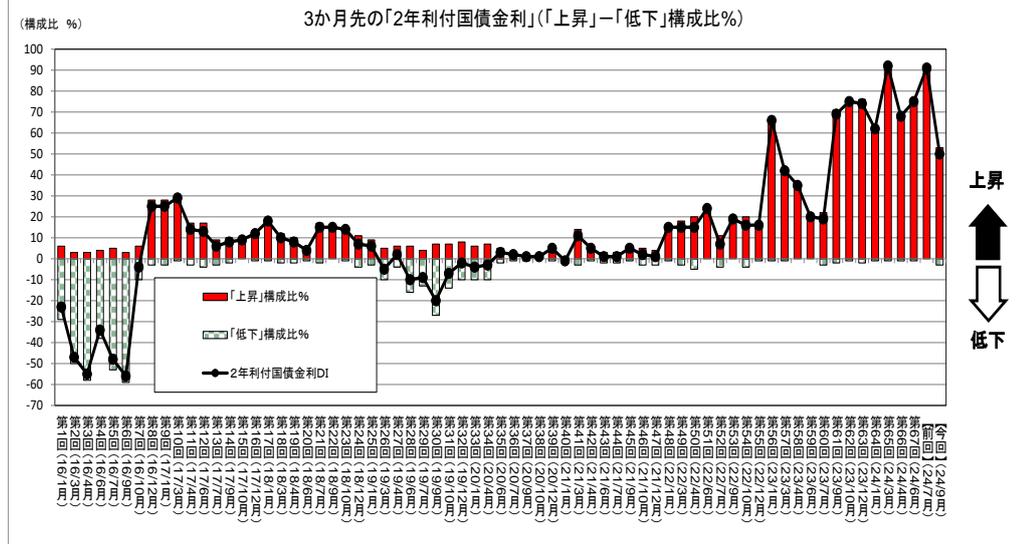
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の53%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は3%で、「不変」を予想した先は44%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲3.8%ポイント(前回91% → 今回53%)。

「低下」とみる先は+3%ポイント(前回0% → 今回3%)。

「不変」とみる先は+3.5%ポイント(前回9% → 今回44%)。



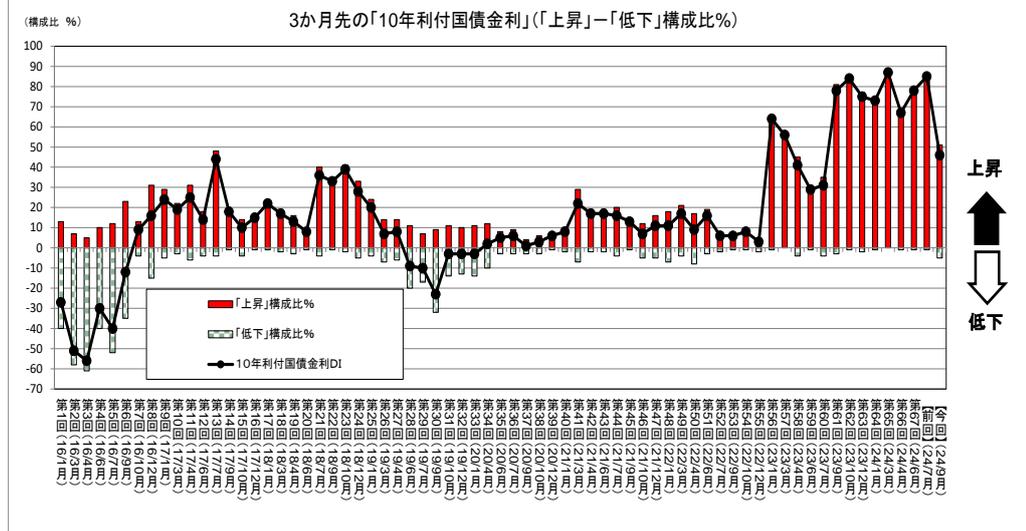
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の51%が「上昇」を予想、5%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は44%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲3.5%ポイント(前回86% → 今回51%)。

「低下」とみる先は+4%ポイント(前回1% → 今回5%)。

「不変」とみる先は+3.1%ポイント(前回13% → 今回44%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2024年9月12～17日
調査先	156先
回答率	95.5%

（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（9月19日～9月20日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回7月29日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+ 1
不変	98	68	+ 30
引締	1	32	▲ 31
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	0	32	▲ 32

（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月29日)	変化幅
低下	2	0	+ 2
不変	64	10	+ 54
上昇	34	90	▲ 56
<hr/>			
短期金利予想DI	32	90	▲ 58

（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月29日)	変化幅
低下	3	0	+ 3
不変	44	9	+ 35
上昇	53	91	▲ 38
<hr/>			
2年国債金利予想DI	50	91	▲ 41

（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回7月29日)	変化幅
低下	5	1	+ 4
不変	44	13	+ 31
上昇	51	86	▲ 35
<hr/>			
10年国債金利予想DI	46	85	▲ 39

【本調査に関する照会先】 企画部 島本、青木
(電話 03-3270-1475)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会